

報道関係各位

2025 年 8 月 27 日
VLP Therapeutics, Inc.

**がん治療第 1 相臨床試験をスタンフォード大学医学部と開始：
ウイルスレプリコン粒子（VRP）技術を用いたがん免疫療法の創出に期待**

VLP Therapeutics, Inc.（VLP セラピューティクス、米国メリーランド州、CEO：赤畑渉、以下「VLPT」）は、VLPT 開発のがん免疫療法（VLPONC-01）の第 1 相臨床試験（治験）を、米国スタンフォード大学医学部と開始しました。

本治験（[NCT06736379](https://clinicaltrials.gov/ct2/show/study/NCT06736379)）は、この新規がん免疫療法の安全性と VLPONC-01 の適切な用量を評価することを主な目的として、スタンフォード大学病院で実施中です。

VLPONC-01 は、VLPT 保有のウイルスレプリコン粒子（VRP）技術（ウイルス様粒子とレプリコンを掛け合わせた新たな技術）を用い、腫瘍微小環境の免疫応答を活性化する新しいがん免疫療法です。

本治験のリード研究者を務める、スタンフォード大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科の Fred M Baik 医師は「VLPT が研究開発した新しいがん免疫療法に基づく治験をリードできることを、頭頸部外科医として嬉しく思います。この治験をとおして、米国だけで年間約 7 万人、全世界で約 90 万人と推定される頭頸部がん患者の治療の前進に寄与したいと考えています」としています。

本治験の共同代表者を務める、スタンフォード大学医学部放射線腫瘍科長の Quynh-Thu Le 医師・教授は「頭頸部がんにおいて、新たな免疫標的を活用した、より迅速で効果的な免疫療法の戦略が喫緊に求められています。VLP セラピューティクスと行うこの治験は、腫瘍微小環境に作用し、十分な変化を誘導する VRP の能力を活かしたもので、まさに今求められているそうした一つのアプローチであると考えています」としています。

VLPT 共同創業者・CEO の赤畑渉博士は「この治験を開始できたことは、新たながん免疫療法の創出に向けた重要な一歩と捉えています。この分野を牽引する Baik 医師と Le 医師らの協力を仰ぐことができたのも非常に光栄に思います。切迫した医療ニーズを抱える世界のがん患者さんたちに 1 日でも早く新たな治療選択肢を届けられるよう、VLPT とスタンフォード双方の強みを活かし、取り組んでいきます」としています。

◆ VLPセラピューティクス（VLPT）について

<https://vlptherapeutics.com>

VLP Therapeutics, Inc.（本社：米国メリーランド州、CEO：赤畑渉）は2013年、世界の「満たされていない医療・ニーズ」に応え、革新的な予防・治療免疫療法を開発するため、赤畑渉が上野隆司博士、久能祐子博士らと設立しました。2025年現在、がん治療と感染症予防に関する研究開発を進めています。

【問合せ先】

Director of Global Communications and IR, VLP Therapeutics, Inc.

飯島 由多加 | Email: info@vlptherapeutics.com